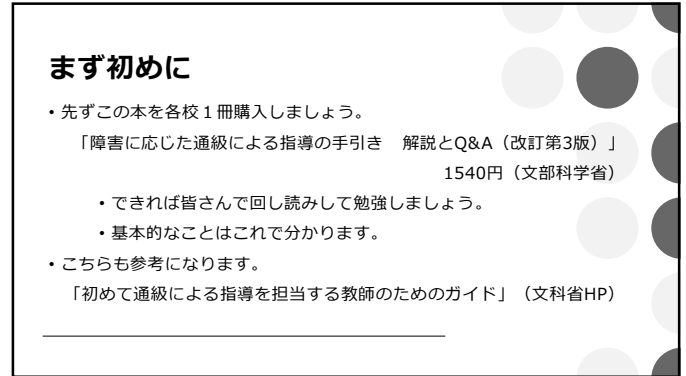
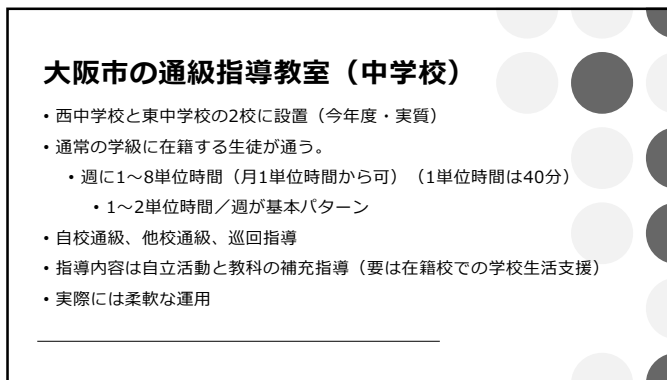




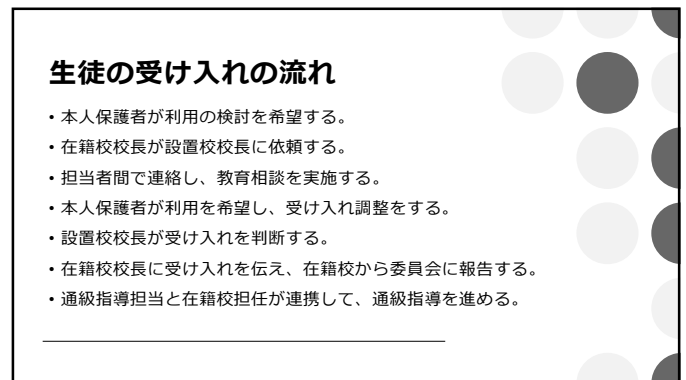
1



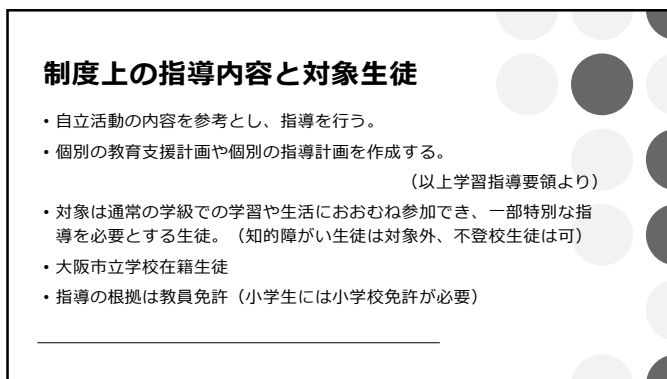
2



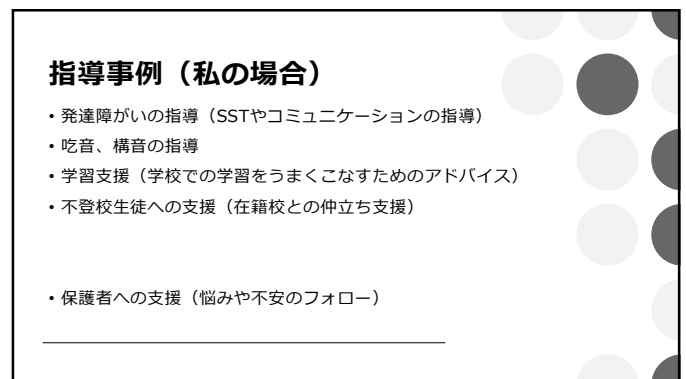
3



4



5



6

通級指導教室のこれから

～大阪市を取り巻く状況～

7

きっかけはモンカショウ

- ・「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について（通知）」

R4.4.27【資料1】

- ・勝手なことをしてるやつ（大阪）がおる。怒
- ・ちゃんと教育相談しろ！（安易に学級に入れるな！）
- ・通級作ってもっとそっちに回せ！
- ・支援級なら週に半分以上は学級で授業せえ^{※1}！
- ・通常に戻す経過措置（1年待ってください）なら大目に見たる。
- ・自立活動ちゃんとせえ^{※2}。通級増やせ。

※1：法的根拠なし
※2：法的根拠あり

8

通知の背景

- ・突出している大阪の特別支援学級【資料2】 文科省 特別支援教育資料（令和2年度）
- ・箸の上げ下ろしまでの「障害のある子供の教育支援の手引」 R3.6.30
- ・文科省のお手本は東京都方式【資料3】【資料4】
 - ・「就学相談」を機能させて、就学先を調整する。
 - ・特別支援学級（知的）は一部に設置（通級指導学級も）
 - ・特別支援教室を全校に設置（拠点校から巡回指導）
 - 通常の学級に在籍し、知的障害がなく、自閉症、情緒障害、LD、ADHDがある児童・生徒
 - ・高校では通級による指導を推進する。

9

東京都方式の実態と課題

- ・数区のサンプリングからの学級設置状況（概数）

	小学校	中学校
特別支援学級（知的）	23%	28%
特別支援学級（その他）	2%	1%
通級指導学級（弱視・難聴・言語）	12%	5%
特別支援教室の拠点校	29%	16%
特別支援教室（含拠点校）	100%	100%

- ・特別支援学級の設置・受け入れの硬直感・不足感【資料5】

10

通知の影響

- ・慌てふためいた枚方市
 - ・直ちに方針転換を打ち出し、現場は大混乱w【資料6】【資料7】
- ・国連障害者権利委員会が通知の撤回を要請（9/9）
 - ・文科大臣「撤回には応じない」（9/13）
- ・大阪市の対応（推測）
 - ・通知にすり合わせつつ「ただし、例えば、（中略）この限りではないこと。」の一文を根拠に乗り切りを図っている。（と思われる。）

世に知らしめたのはGJカw

「権利委員会の目は節穴」

通知についてのQ&Aを追加発表

11

結論：これからの通級指導教室

- ・進む通級指導教室の新増設
- ・通知の「発達障害は通級による指導で」に沿う流れか？
 - ・「自閉症・情緒障害学級」から通級へ（来年度は更なる圧力？）
 - ・通知による「学びの場の変更」を余儀なくされる可能性
- ・通級指導教室への生徒の在籍を委員会が管理していく流れか？
 - ・生徒の受け入れが、委員会への報告から承認へ
 - ・委員会から生徒の受け入れ指示が来る？

12